

にちなんの森林(もり)だよりを発行するにあたり

いま、若者が地方に目を向けてきています。日本をここまで発展させた産業体系が、新しい方向に変わろうとしてきています。もう一度、地方の、そして地域の力を期待する声が聞こえてきています。これからの日本は、地方の力に大きく依存していく方向にあります。私たちの住む日南町は、その原動力としての森林という地域資源を手の届くところに蓄えています。それは、戦前戦中戦後に当時この地域に生活されていた方々の多くの汗によりこの地域に植林していただいた資源です。日南町では、平成17年7月に国の地域再生計画の承認を受け、この資源を最大限に有効に利用、活用する産業体系を構築したところです。それは、間伐時期にある森林資源を積極的に間伐作業し、建築用の構造材として製品化する工場の設立です。すなわち、各方面からの資本投資をいただき設立した株式会社「オロチ」の本格的な工場の稼働が始まっているところです。このように、故郷の山が大きく動き出した様子を、是非とも皆様にもお届けしようと考えているものです。また、故郷に山林をお持ちの方々には、もう一度山林の役割を見つめていただき、ともに山林を育てていく意識を共有していただきたいと思います。これから毎月、故郷の森林に関する情報など、皆様にお送りしますので、よろしくご査収いただきたいと思います。なお、この情報発信事業は鳥取県の「新しい公共支援モデル事業」の助成を受けて行う一連の事業の情報発信メニューです。

「森と共に生きる」(NPOフォレストアカデミージャパン矢田理事長)

私たちの子供のころの遊びは、野山をかけめぐることでした。親(家)の手伝いといえば百姓と炭焼きのテゴでした。子供なりに大変厳しい仕事でした。それが今はなつかしい思い出となりました。木炭がダメになり雑木林からスギやヒノキの植林へと変わり、せっせと造林に精を出しました。今地元には若者は少なくなり、山に入る若者がほとんどいなくなりました。植林した山は荒廃が進んでいます。町長三期の任期を終え、在職中に手掛けた森林業の再生をさらに推進していきたいと願い、NPO法人を立ち上げました。山には四季折々の素晴らしい資源がいっぱいつまっています。日南町には3万ヘクタールの山があり、約1万8千ヘクタールのスギやヒノキの造林があります。これは先達が一生懸命植えた木です。この素晴らしい森林資源を活用しながら、いろいろと楽しむことができます。何よりも健康に役立ちます。少しでも山に親しんでいただくため活動を展開してまいります。森林資源を後世のために守り育て、森と共に豊かなくらしを実現することが私たちNPOのめざすところです。子供のころ体験したふるさとの山が健康な身体を育み、今日の日があることを感謝しつつ活動してまいります。

(略歴)

昭和13年日南町(当時石見村)下石見に生まれる
石見村役場に奉職後、平成9年まで日南町総務課長、収入役等要職を歴任
平成10年日南町長に当選し、平成22年3月まで三期にわたり日南町長を務める
現在NPO法人フォレストアカデミージャパン理事長

間伐作業された健全な森



間伐を待つ山(間伐未実施のため雪による被害)

